

パリ地方観光協会とノルマンディー地方観光協会は、フランスの旅のPRとして、印象派の旅の魅力を発信し、地方同士の枠組みを超え一体となって、このテーマを盛り上げていきたいと考えています。

近年、パリ地方、ノルマンディー地方は、「土地、歴史、文化、地理」などを活かしたプロジェクトを推進してきました。歴史的にも地理的にも関係が深い2つの地方は、お互いに協力し、地方同士の枠組みを超えて、メッセージを発信するという目的で結ばれています。

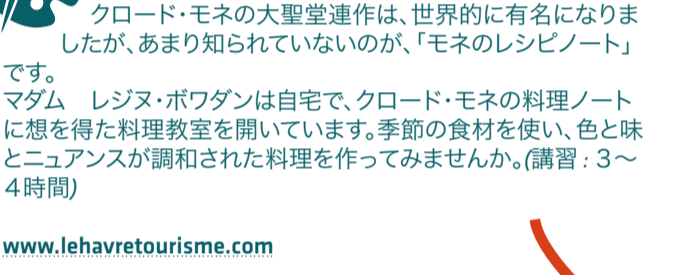
外務省の呼びかけにより、パリ、イールド・フランス地方、オートノルマンディー地方、イルド・フランス：印象派の旅という目的地協約を結びました。この協約は、自治体と企業が観光推進と地域発展のために協力して活動し、世界各地から訪れる方々の強いご要望に応え、質の高い観光地を目指していくという目的で作られました。

パリのオルセー美術館、マルモタン・モネ美術館、モンマルトル美術館、オーベル・シュル・オワズ、バルビゾンから、ジベルニー、オアンフルール、ルーアン、ル・アーブル、カンテイエップなどの街でも、印象派にまつわる様々な文化・観光イベントが企画されています。

このプレスセットは、19世紀にこの地から生まれた印象派の様々な魅力をご紹介します。



クロード・モネ「印象・日の出」(部分),1872年、油絵、50 x 65 cm、マルモタン・モネ美術館、パリ
© Christian Baraja



www.lehavretourisme.com



ル・アーブルで、モネの料理教室
クロード・モネの大聖堂遺作は、世界的に有名な作品ですが、あまり知られていないのが、「モネのレシピ」です。ママ レジヌ・ボウダンが自宅で、クロード・モネの料理ノートに得た料理教室を開いています。季節の食材を使い、色と味とユアンスが調和された料理を作ってみませんか。(講習：3〜4時間)

クロード・モネ「印象・日の出」(部分),1872年、油絵、50 x 65 cm、マルモタン・モネ美術館、パリ
© Christian Baraja

君の前に、木、家、畑があったでしょう。ただそれを、青やピンクの四角、緑の楕円

形の形、黄色の横線、頭の中に浮かんだままを描いてみたまえ。」

この広い地域に、偉大な画家たちの足跡が残っています。クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール、エドガール・ドガ、アルフレッド・シスレー、フィンセント・ファン・ゴッホ…

これらの「幸せな画家たち」がキャンバスを置き、描いた場所に、訪れる人々が思いを馳せるのです。

• 画家たちのゆかりの場所を訪れてみませんか。クロード・モネの家、オルセー美術館、ルーアンのカユポットの家は、素晴らしい企画が行われています。

• 画家たちのゆかりの場所を訪れてみませんか。クロード・モネの家、オルセー美術館、ルーアンのカユポットの家は、素晴らしい企画が行われています。

• 作家や自転車での旅のコースを提案します。画家たちが愛した場所、キャンパスを置いた場所に絵画パルコが設置されています。

• ノルマンディー 印象派 festivals は3年に一度行われる大きなイベントです。

• ジベルニーの印象派美術館、パリのマルモタン・モネ美術館やオルセー美術館、イェールのカユポットの家では、素晴らしい企画が行われています。

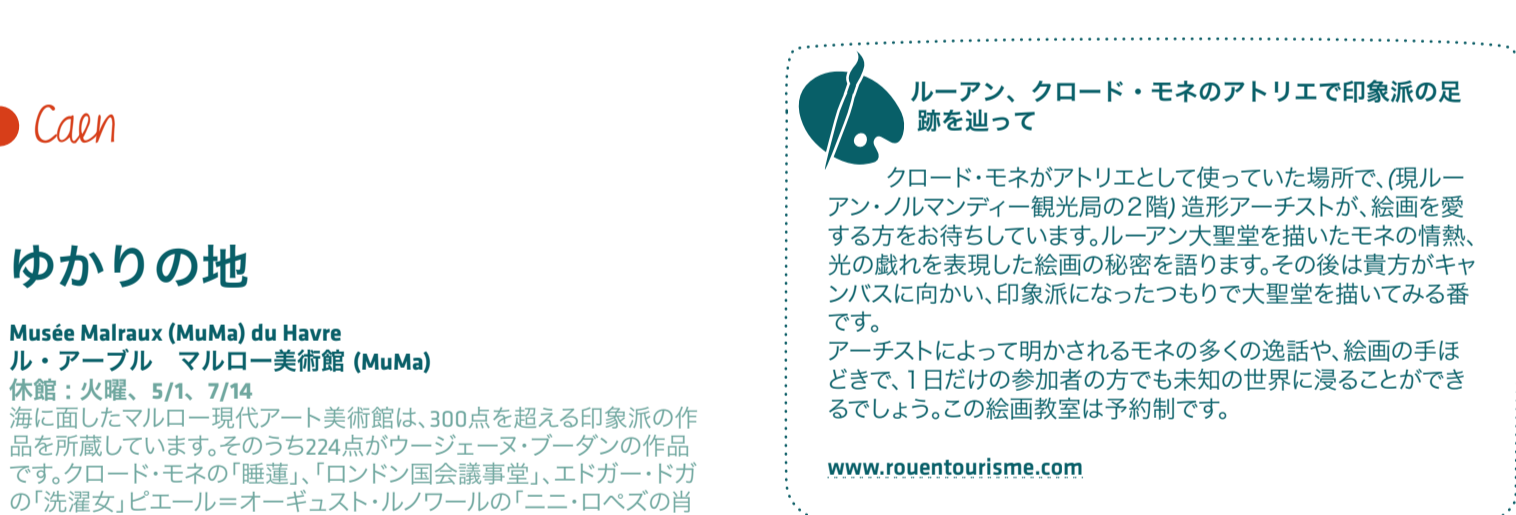
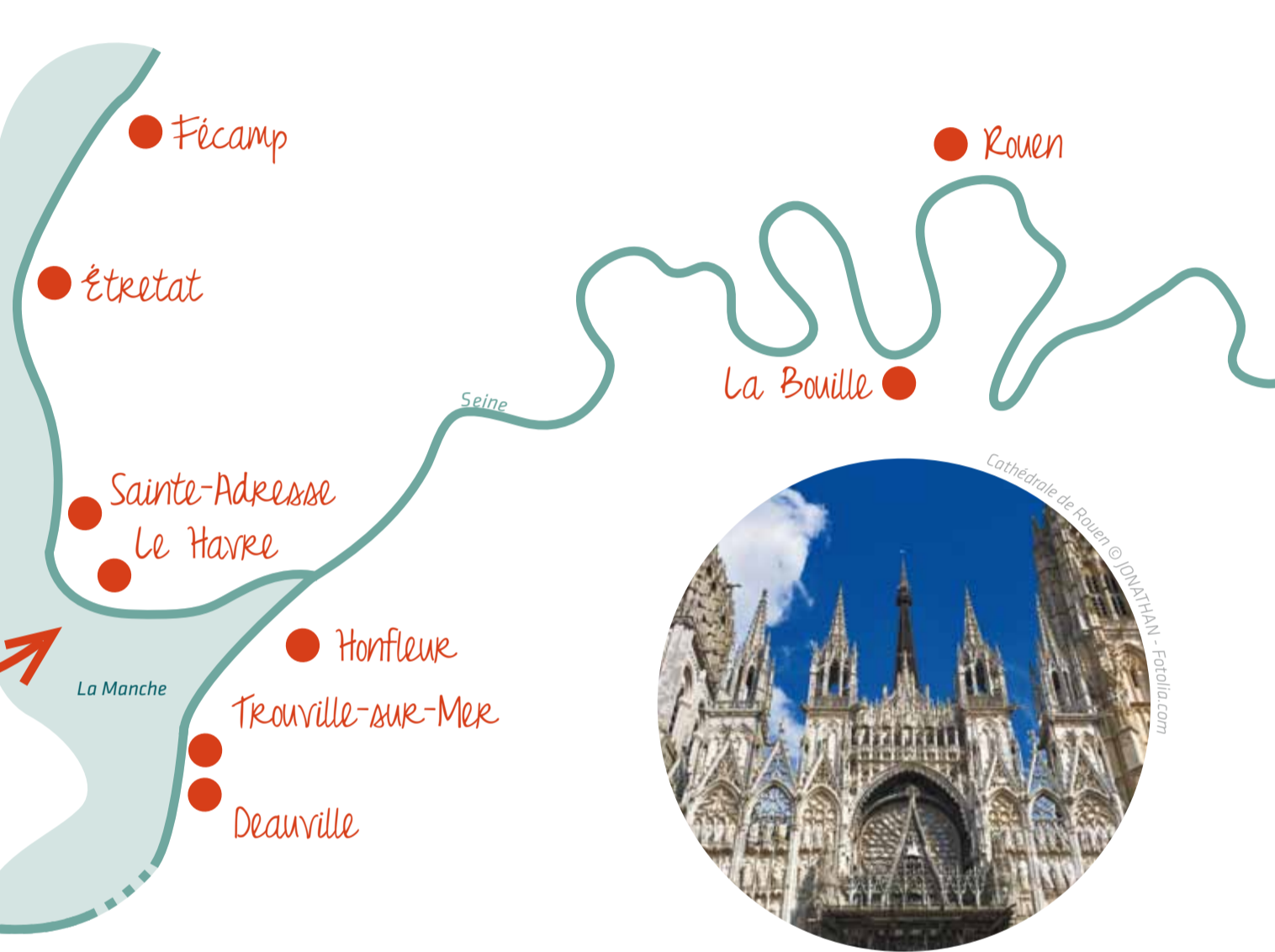
• 徒歩や自転車での旅のコースを提案します。画家たちが愛した場所、キャンパスを置いた場所に絵画パルコが設置されています。

• 今も芸術家たちにインスピレーションを与える場所です。画家も多く集まり、アート・ギャラリーが並んでいます。

印象的なノルマンディーの海岸

印象派の画家たちが描いたのは、セーヌ川だけではありません。鉄道が発達し、ノルマンディーの海岸まで、キャンバスを運び、描くためにやってきました。ティエップは特に彼らに愛された町でした。ビエール＝オーギュスト・ルノワール、ギュスターヴ・クールベ、クロード・モネ、カミーユ・ピサロが何回も足を運び、英国のアヴアンギャルド派の画家たちに出会います。ピサロが旧港を16点描きました。クロード・モネは、「海と空はこんなにも美しいのだから」とモネが嘗い時に、野外出かけで描くことを勧めました。クロード・モネは、くり返しノルマンディー海岸に戻ってきます。一人の時もあれば、フレデリック・バジールと一緒に来ることもありました。夏に來たり、冬に來たり、エルト、フェカン、トゥルーヴィル・シュル・メール、ブルヴィル・シュル・メール、サンタドレと目的地も変わりました。ウージェヌ・ブーダンもトゥルーヴィル・シュル・メールの傑作を多く残しています。ペルト・モリゾは印象派の中で貴重な女性画家で、ジェルバールやフェカンをよく描きました。傑作「ノルマンディーの薬屋屋根の家」は1865年の作品です。

ル・アーブルはセーヌ川の河口に位置し、画家たちの創造力を刺激する場所となりました。ジャン＝フランソワ・ミレー、ウージェーヌ・ブーダンの他、クロード・モネも青年時代を過ごしました。花に溢れた港町アフルールは、画家だけではなく、ミュージシャンや小説家なども多く集まってきました。1860年代、サン・シメオン農場の宿には、クロード・モネやその友人ウージェーヌ・ブーダン、ギュスターヴ・クールベ、フレデリック・バジール、ヨハンバルトルド・ヨنگキントが集いました。現在も、セーヌ河口を見下ろす素晴らしい眺めのルシ&シャトー5つ星ホテルになっています。旧港の周りには、カラフルな木骨組の細い家が立ち並びます。ここは、ノルマンディーの景色の代表となるほど、多くの画家に描かれました。ウージェーヌ・ブーダンの美術館は、旧礼拝堂の建物に置かれていました。ブーダンは19世紀、ノルマンディー地方を愛し、多くの作品を残しています。



2 boulevard Clemenceau, Le Havre
www.muma-lehavre.fr
Le château-musée de Dieppe
ティエップ シャトー・ミュゼ
開館：6月〜9月毎日、10月〜5月は火曜休館
休館：1/1、11/1、12/25
ティエップのシャトー・ミュゼは、街の歴史を語る博物館で、絵画コレクションでは、ウージェーヌ・ブーダン、カミーユ・ピサロ、ビエール＝オーギュスト・ルノワール、エドガール・ドガの2点の作品が収められています。同じ敷地と総て2人の画家の描き出した絵画を見るの楽しみはつです。ブーダンが描いた景色、聖キトリヤン教会の鐘樓をヨハンバルトルド・ヨングキントが描き、トゥルーヴィルの海岸をギュスターヴ・クールベ、エルトの崖壁をクロード・モネも描きました。

Place Erik Satie, Honfleur
www.satie-honfleur.fr
Les tables de lectures
解読パレル
描らめく光、変わやすい天候、美しい自然の風景や近代化された光景。ノルマンディーの海など、印象派の画家たちは、彼らの絵画に対する情熱と鋭い観察眼を満足させる風景を求め戻ってきました。ティエップ、フェカン、エルト、ル・アーブル、ルーアんで、印象派の足跡を巡るつるルート、11のゆかりの地に、22枚の解説パレルが設置されています。画家たちがキャンバスを握えた場所で、19世紀と現代の景色を比べてみたいのがおすすめです。

4 Impressions de Seine maritime＝セーヌ・マリティー風景の足跡」のパンフレットをノルマンディー・ジベルニーの観光局でご用意しています。

Place de la cathédrale, Rouen

Cathédrale Notre-Dame de Rouen
ルーアン・ノートルダム大聖堂
休館：1/月曜午前中
無料

大時計と旧市街のすぐそば、街の中心に聳え立つノートルダム大聖堂は、中世の時代、数世紀にわたって建設され、1506年に完成しました。1892年2月12日に、クロード・モネはその後28枚にもなる連作に取りかかりました。朝早くから日が暮れるまでの大聖堂正面の光の変化を追いかけた。

12 rue du pont, Vernon



ルーアン・セーヌ渓谷：印象派の故郷

セーヌ川の高曲部の入り込んだ位置にあるルーアンの街は、古くから芸術家たちを魅了してきました。偉大な画家たち(ジョゼフ・マヨルド＝ウィリアム・ターナー、カミーユ・ピサロ、ポール・ゴーギャン)がセーヌ河岸の風景に惹かれ、キャンバスを置いたのです。

クロード・モネは、1892年ルーアンにやってきます。サント・キトリヤンの丘に上り、街を眺めながら、この街を描く驚くべき大きな可能性を感じました。特に氣に入ったのが大聖堂だったのです。モネは大聖堂の正面、現在の観光局の隣に描くための部屋を借ります。大聖堂を描くには理想的なアングルでした。毎日11時から、同時に9枚ものキャンバスを並べ描きました。モネは、この作品に執着し、「夜中に悪夢を見た。大伽藍が崩れかかってきたのだ、それが青やピンクや黄色に見えた。」と語りまました。ルーアン大聖堂は、印象派の父によって世界でも知られた連作となりました。1日(の時間)や天候によって変化するファサードを28枚描きました。)

この家で、モネは庭を作り、水を引き池を作り、睡蓮を育てました。

クロード・モネは、このジベルニーで43年間生活し、喜びや悲しみを感じ、病気や家業の死にも苦しむこともありました。ジョルジュ・クランヌのコレクションが展示されています。ノルマンディーでは、モン・サン・ミッシェルに次いで毎日の観光客数となっています。モネの家と庭園は、今も人々の心を惹きつけてやみません。



2009年にオープンした印象派美術館は、1年に3回の期間展示を企画しています。印象派、その先駆者から後継者に至るまで様々なテーマを取り扱っています。美術館の庭園もぜひご覧ください。誰もが賞賛する「色の伽藍」は美術館はクロード・モネの1891年に「積みむら」を描いた野原があった場所にて作られています。



84 rue Claude Monet, Giverny
fontation-monet.com/ja
Musée des impressionnistes Giverny
ジベルニー 印象派美術館
開館：4月〜11月 毎日
期間展示入れ替えるため、2015、7/20〜7/30、2016、7/4〜7/13は閉館
2009年にオープンした印象派美術館は、1年に3回の期間展示を企画しています。印象派、その先駆者から後継者に至るまで様々なテーマを取り扱っています。美術館の庭園もぜひご覧ください。誰もが賞賛する「色の伽藍」は美術館はクロード・モネの1891年に「積みむら」を描いた野原があった場所にて作られています。

99 rue Claude Monet, Giverny
www.mdg.fr
Le sentier couturier
カトルーロード

ジベルニーの歴史を発見する20枚のパネルが並べられ、フランス語と英語で設置されました。アメリカ人アーティストを訪れ、住み始めた物語や、昔のボストンで、当時の生活やお祭りの様子が見られます。この小さな町に500人ものアメリカ人アーティストが集まってきたのです。クロード・モネが彼らに与えた大きな影響を窺い知ることができます。

ルーアン、印象派の故郷
ルーアンは19世紀、印象派の絵画運動にとって重要な役割を果たしました。偉大な画家、アルフレッド・シスレー、ポール・ゴッホやカミーユ・ピサロ、クロード・モネが皆様の様々な風景、建物、セーヌ河岸を描き、不朽のものにしました。ルーアンの道産、歴史地区などを発見していただくために、日本語のガイドツアーを行っています。ぜひご予約ください。

ルーアン、印象派の故郷
ルーアンは19世紀、印象派の絵画運動にとって重要な役割を果たしました。偉大な画家、アルフレッド・シスレー、ポール・ゴッホやカミーユ・ピサロ、クロード・モネが皆様の様々な風景、建物、セーヌ河岸を描き、不朽のものにしました。ルーアンの道産、歴史地区などを発見していただくために、日本語のガイドツアーを行っています。ぜひご予約ください。

ルーアン、印象派の故郷
ルーアンは19世紀、印象派の絵画運動にとって重要な役割を果たしました。偉大な画家、アルフレッド・シスレー、ポール・ゴッホやカミーユ・ピサロ、クロード・モネが皆様の様々な風景、建物、セーヌ河岸を描き、不朽のものにしました。ルーアンの道産、歴史地区などを発見していただくために、日本語のガイドツアーを行っています。ぜひご予約ください。

ルーアン、印象派の故郷
ルーアンは19世紀、印象派の絵画運動にとって重要な役割を果たしました。偉大な画家、アルフレッド・シスレー、ポール・ゴッホやカミーユ・ピサロ、クロード・モネが皆様の様々な風景、建物、セーヌ河岸を描き、不朽のものにしました。ルーアンの道産、歴史地区などを発見していただくために、日本語のガイドツアーを行っています。ぜひご予約ください。

Ancien hôtel boudry
ホテル・ボディー
レストランは、4月〜11月毎日営業
1867年、アメリカ人画家がジベルニーに居住するための家を探していた。マダガバール＝アーティスは、当時食料品とバーとして使われていた建物をホテル・レストランに改築しました。
クロード・モネ、ポール・セザンヌ、オーギュスト・ロダン、ビエール＝オーギュスト・ルノワール、ウィグドール＝ロワ、メトカリス、テオドール・ロピジョン、コンソーレなど芸術家たちが集い、楽しい夜を過ごしました。パティシエや、庭の画家アトリエ、ミニチュア人形の展示などもぜひご覧ください。

81 rue Claude Monet, Giverny

La tombe de Claude Monet
クロード・モネの墓
無料
クロード・モネは、ジベルニーの墓地にアーネスト・オデュア、アリス(二人目の妻)、息子ジャン・モネの隣に眠っています。シスレー、クランヌも、モネの隣葬には行ったけれども、密かに参列しました。クランヌは、モネの棺にかけられた黒い布を取り、「モネに黒はかけない」と言ったそうです。

聖ドドント教会
Eglise Saint Radegonde, Giverny

44, rue Callé, Auvers-sur-Oise
Balade impressionniste sur les pas de Van Gogh, Paul Cézanne, Camille Pissaro

印象派を巡る散策道。ファン・ゴッホ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロの足跡を訪ねて
休館：1/月曜
オーベル・シュル・オワズの日曜の間に、80点もの作品を描いたフィンセント・ファン・ゴッホは、この町に永訣的な思い出を残しました。オーベル・シュル・オワズで、ファン・ゴッホをはじめ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロ、ガッシュ・イェール、シャル＝フランソワ・ピーニーの足跡を訪ねてみましょう。

44, rue Callé, Auvers-sur-Oise
Balade impressionniste sur les pas de Van Gogh, Paul Cézanne, Camille Pissaro
印象派を巡る散策道。ファン・ゴッホ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロの足跡を訪ねて
休館：1/月曜
オーベル・シュル・オワズの日曜の間に、80点もの作品を描いたフィンセント・ファン・ゴッホは、この町に永訣的な思い出を残しました。オーベル・シュル・オワズで、ファン・ゴッホをはじめ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロ、ガッシュ・イェール、シャル＝フランソワ・ピーニーの足跡を訪ねてみましょう。

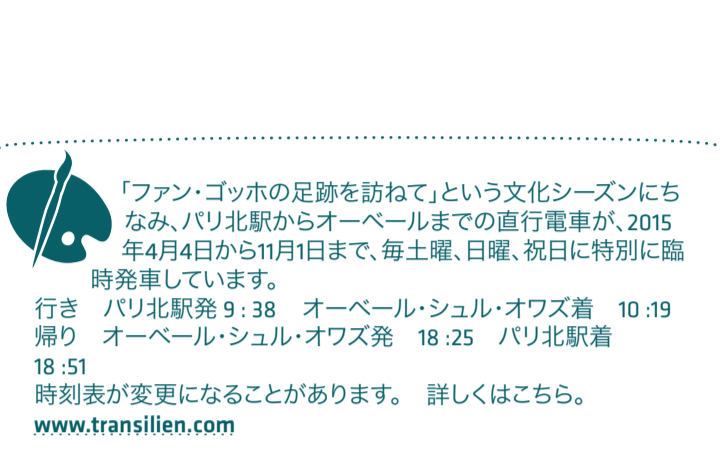
オーベル・シュル・オワズ観光局
Office de tourisme d'auvers-sur-Oise, Parc Van Gogh, Auvers-sur-Oise
tourisme-auverssuroise.fr

オーベル・シュル・オワズ ヴァン・ゴッホの足跡を訪ねて

ファン・ゴッホは、「オーベルは、驚くほどの美しさだ」と弟テオ死の手紙に書いています。オーベル、カミーユ・ピサロ、ポール・セザンヌを訪れたの地オーベル・シュル・オワズに、ファン・ゴッホは、1890年、隔離病棟にいた南フランスから移り住みました。ガッシュ医師がゴッホの身受け入れよう的な役割を果たしました。ゴッホはここで、人生最後の70日間、最も凝縮された日々をすごしました。ここで「オーベル・シュル・オワズの教会」80点の作品を残しています。彼の死は今も謎に包まれています。弟のテオと共に村の墓地に眠っています。

オーベル・シュル・オワズは、今も牧歌的で絵画的な風景に包まれています。ジベルニーはまた、モネが日本の芸術を心から愛していたこの家私たち教えてくれる場所でもあります。北斎や広重、歌麿などの素画という写絵のコレクションが並べられ、水、底では東洋の植物が生育し、日本橋が架けられています。

「ファン・ゴッホの足跡を訪ねて」という文化シーズンにちなみ、パリ北線からオーベル・シュル・オワズまでの列車が2015年11月4日から1日まで、毎土曜、日曜、祝日に特別に臨時発車しています。
行き　パリ北駅発 9：38　オーベル・シュル・オワズ着　10：19
帰る　オーベル・シュル・オワズ発　18：25　パリ北駅着　18：51
時刻表が変更になることがあります。詳しくはこちら。
www.transilien.com



「ファン・ゴッホの足跡を訪ねて」という文化シーズンにちなみ、パリ北線からオーベル・シュル・オワズまでの列車が2015年11月4日から1日まで、毎土曜、日曜、祝日に特別に臨時発車しています。
行き　パリ北駅発 9：38　オーベル・シュル・オワズ着　10：19
帰る　オーベル・シュル・オワズ発　18：25　パリ北駅着　18：51
時刻表が変更になることがあります。詳しくはこちら。
www.transilien.com



「ファン・ゴッホの足跡を訪ねて」という文化シーズンにちなみ、パリ北線からオーベル・シュル・オワズまでの列車が2015年11月4日から1日まで、毎土曜、日曜、祝日に特別に臨時発車しています。
行き　パリ北駅発 9：38　オーベル・シュル・オワズ着　10：19
帰る　オーベル・シュル・オワズ発　18：25　パリ北駅着　18：51
時刻表が変更になることがあります。詳しくはこちら。
www.transilien.com



オーベルジュ・ラヴォー (ラヴーヌ)
Place de la Mairie, Auvers-sur-Oise
maisondevanogogh.fr/en
Château d'auvers-sur-Oise
オーベル・シュル・オワズ城
休館：1/月曜 (祝日は除く)
「印象派の時代への旅」というテーマの演出で、お城の中を巡っていきます。光の巨匠の世界に突入り、19世紀終わりの変動する社会とその時代生まれの絵画運動、オスマン大改造の時代のバリの様子を感じることができるようです。

オーベルジュ・ラヴォー (ラヴーヌ)
Place de la Mairie, Auvers-sur-Oise
maisondevanogogh.fr/en

Château d'auvers-sur-Oise
オーベル・シュル・オワズ城
休館：1/月曜 (祝日は除く)
「印象派の時代への旅」というテーマの演出で、お城の中を巡っていきます。光の巨匠の世界に突入り、19世紀終わりの変動する社会とその時代生まれの絵画運動、オスマン大改造の時代のバリの様子を感じることができるようです。

Rue de Léry, Auvers-sur-Oise
chateau-auvers.fr

Maison du Dr Cachet
ガッシュ医師の家
入場無料
開館：4月〜10月末　水曜から日曜
ガッシュ医師の歴史を発見する20枚のパネルが並べられ、フランス語と英語で設置されました。アメリカ人アーティストを訪れ、住み始めた物語や、昔のボストンで、当時の生活やお祭りの様子が見られます。この小さな町に500人ものアメリカ人アーティストが集まってきたのです。クロード・モネが彼らに与えた大きな影響を窺い知るることができます。

78 rue du Docteur Gachet, Auvers-sur-Oise
valdoise-tourisme.com/index-en.php

La tombe de Van Gogh
ファン・ゴッホの墓
無料
フィンセント・ファン・ゴッホは1890年7月29日に、ラヴーヌで亡くなり、村の墓地に埋葬されました。6月後輩のテオが亡くなり、彼の妻は兄弟が再会するようになり、遺体をオーベル・シュル・オワズの墓地に送りました。二つの墓を結ぶ高層の鉄筋はガッシュ医師の庭から移されたものです。

オーベル・シュル・オワズ墓地
Cimetière d'auvers-sur-Oise, Auvers-sur-Oise

Musée de l'Absinthe
アブサン博物館
開館：3月〜11月は週末と祝日のみ、7月、8月は水曜から日曜
19世紀の社会で、アブサンが生産生活で重要な薬品であったことが発見できる博物館です。世界的にも珍しいアブサンにまつわる様々な製品のコレクションがご覧いただけます。素仮のデザイン、瓶のデザインなども展示されています。アブサンは、アブサンの特徴的なブープが栽培されています。アブサンの飲法をしていただけます。

44, rue Callé, Auvers-sur-Oise

Balade impressionniste sur les pas de Van Gogh, Paul Cézanne, Camille Pissaro
印象派を巡る散策道。ファン・ゴッホ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロの足跡を訪ねて
休館：1/月曜
オーベル・シュル・オワズの日曜の間に、80点もの作品を描いたフィンセント・ファン・ゴッホは、この町に永訣的な思い出を残しました。オーベル・シュル・オワズで、ファン・ゴッホをはじめ、ポール・セザンヌ、カミーユ・ピサロ、ガッシュ・イェール、シャル＝フランソワ・ピーニーの足跡を訪ねてみましょう。

オーベル・シュル・オワズ観光局
Office de tourisme d'auvers-sur-Oise, Parc Van Gogh, Auvers-sur-Oise
tourisme-auverssuroise.fr

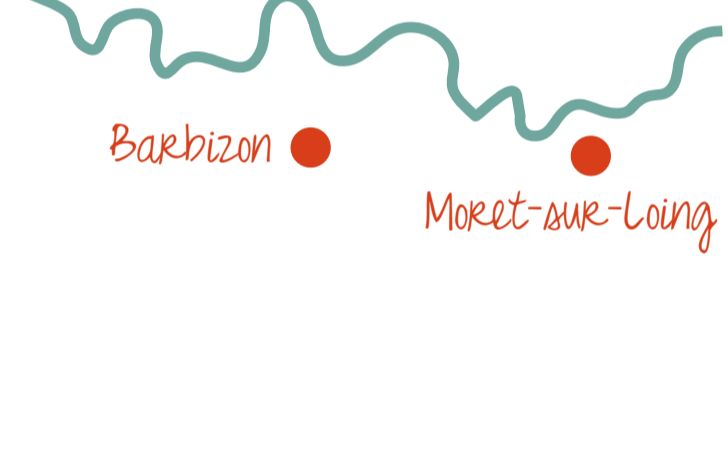
印象派 パリの扉

新しく変化したパリの街は印象派の画家たちにも多くのインスピレーションを与えました。そして鉄道が発達し、チューブ絵具も多量に便利にした直後で、パリ市はオスマン侯爵による大改造が行われていました。パリ市民の生活様式も大きく変わりました。カフェ、カフェ・コンサート、ブザンヌ、ダンスホール、サーカス、公園などが次々と作られました。印象派の画家たちもこのように場所に集まり、近代化された町に興味を抱き表現するようになります。

セーヌ川湾曲部近くにある小村や河岸では、喧騒を離れ美しい舞踏会や、ボール遊びを楽しむ人たちがにぎわっていました。クロード・モネやビエール＝オーギュスト・ルノワールは、「舟遊びの昼食」や「ラン・ブルヌ・イェール」に見られるように、その喜びに溢れる光景を描きました。

クロード・モネは、アルジャントウィユからヴェトウィユ、ジベルニーへと、セーヌ川を西へと移動していきます。ギュスターヴ・カイユポットは、パリの西、イェールの家族の窟でインスピレーションを得て、何点かの作品を残しています。フィンセント・ファン・ゴッホは、モンマルトルに住んだ後、オーベル・シュル・オワズで人生最後の日々を過ごし、その3ヶ月の間に80点を超す作品を描きました。

クロード・モネは、アルジャントウィユからヴェトウィユ、ジベルニーへと、セーヌ川を西へと移動していきます。ギュスターヴ・カイユポットは、パリの西、イェールの家族の窟でインスピレーションを得て、何点かの作品を残しています。フィンセント・ファン・ゴッホは、モンマルトルに住んだ後、オーベル・シュル・オワズで人生最後の日々を過ごし、その3ヶ月の間に80点を超す作品を描きました。



1 avenue des combattants - Mary-le-Roi
pays-des-impressionnistes.fr/en

2 avenue des combattants - Mary-le-Roi
pays-des-impressionnistes.fr/en

Maison Fournaise
メゾン・フルネーズ
オランジュリー美術館

フルネーズ美術館、水曜から日曜開館
「イェール＝オーギュスト・ルノワール」の「草上の昼食」、エドガール・ドガの「アイロ」を描ける方たち、「ムーランド・パレット」、ビエール＝オーギュスト・ルノワールの「ブランチ」、クロード・モネの「ジャン・バティスト・ミレー」の「3人の絵画パレル」を設置しています。画家の足跡や、その周辺の見どころを詳しくご紹介しています。

Maison Fournaise
メゾン・フルネーズ
オランジュリー美術館
休館：火曜、5/1、12/24、1/1
ファンゼンブローの森の館で、この場所を「印象派にとってのシックスティーンランド」と呼びました。フランス国旗に奪われたクロード・モネの傑作「朝」の連作が一面一面を展示されています。22枚のパネルで3つに構成された作品が、2の構内両面に並べられ、天窓から入る自然光に包まれています。

美術館では、その他の傑作もご覧いただけます。20世紀初期10年間の貴重なウォルター・ギヨームコレクションです。画廊ポール・ギヨームは若いアーティストの才能を見出し、友として支え、少しづつコレクションを増やしてきました。このコレクションには彼の愛も含まれました。セザンヌ55点、ルノワール24点、ドラウラ23点、スーティン22点(ヨーロッパ最大のコレクション)、ピカソ12点、マチス10点、トリリウ19点という類まれなコレクションを誇ります。

3 rue du bac - Chateau
Musée des peintres de Barbizon
バルビゾン派美術館

休館：火曜、5/1、12/24、1/1
ファンゼンブローの森の館で、この場所を「印象派にとってのシックスティーンランド」と呼びました。フランス国旗に奪われたクロード・モネの傑作「朝」の連作が一面一面を展示されています。22枚のパネルで3つに構成された作品が、2の構内両面に並べられ、天窓から入る自然光に包まれています。

美術館では、その他の傑作もご覧いただけます。20世紀初期10年間の貴重なウォルター・ギヨームコレクションです。画廊ポール・ギヨームは若いアーティストの才能を見出し、友として支え、少しづつコレクションを増やしてきました。このコレクションには彼の愛も含まれました。セザンヌ55点、ルノワール24点、ドラウラ23点、スーティン22点(ヨーロッパ最大のコレクション)、ピカソ12点、マチス10点、トリリウ19点という類まれなコレクションを誇ります。

92 Grande rue - Barbizon
Progrès Camillehotte
バルビゾン派美術館
バルビゾン派美術館
休館：火曜、5/1、12/24、1/1
ファンゼンブローの森の館で、この場所を「印象派にとってのシックスティーンランド」と呼びました。フランス国旗に奪われたクロード・モネの傑作「朝」の連作が一面一面を展示されています。22枚のパネルで3つに構成された作品が、2の構内両面に並べられ、天窓から入る自然光に包まれています。

2 rue Louis Bouilly - Paris
marmottan.fr/en

Musée de Montmartre - Jardins Renoir
モンマルトル派美術館-ルノワールの庭園
開館：毎日
ブドウ畑とセーヌ河を見下ろす17世紀、18世紀の建物に、ビエール＝オーギュスト・ルノワールのアトリエがありました。「ムーランド」や「ラン・ブルヌ」や「アイロ」を描ける方たち、「ムーランド・パレット」、ビエール＝オーギュスト・ルノワールの「ブランチ」、クロード・モネの「ジャン・バティスト・ミレー」の「3人の絵画パレル」を設置しています。画家の足跡や、その周辺の見どころを詳しくご紹介しています。

Musée de Montmartre - Jardins Renoir
モンマルトル派美術館-ルノワールの庭園
開館：毎日
ブドウ畑とセーヌ河を見下ろす17世紀、18世紀の建物に、ビエール＝オーギュスト・ルノワールのアトリエがありました。「ムーランド」や「ラン・ブルヌ」や「アイロ」を描ける方たち、「ムーランド・パレット」、ビエール＝オーギュスト・ルノワールの「ブランチ」、クロード・モネの「ジャン・バティスト・ミレー」の「3人の絵画パレル」を設置しています。画家の足跡や、その周辺の見どころを詳しくご紹介しています。

4 bis place de Samois - Moret-sur-Loing

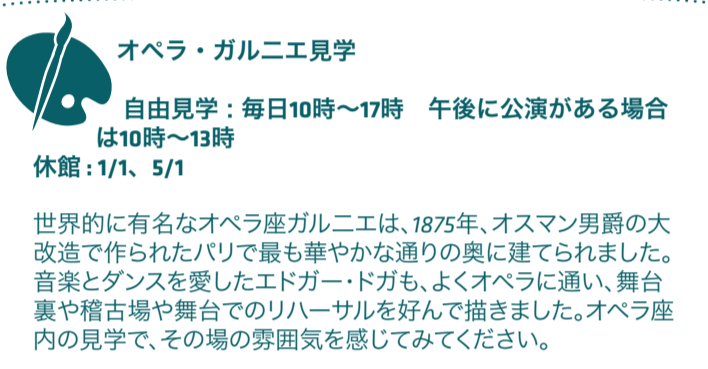
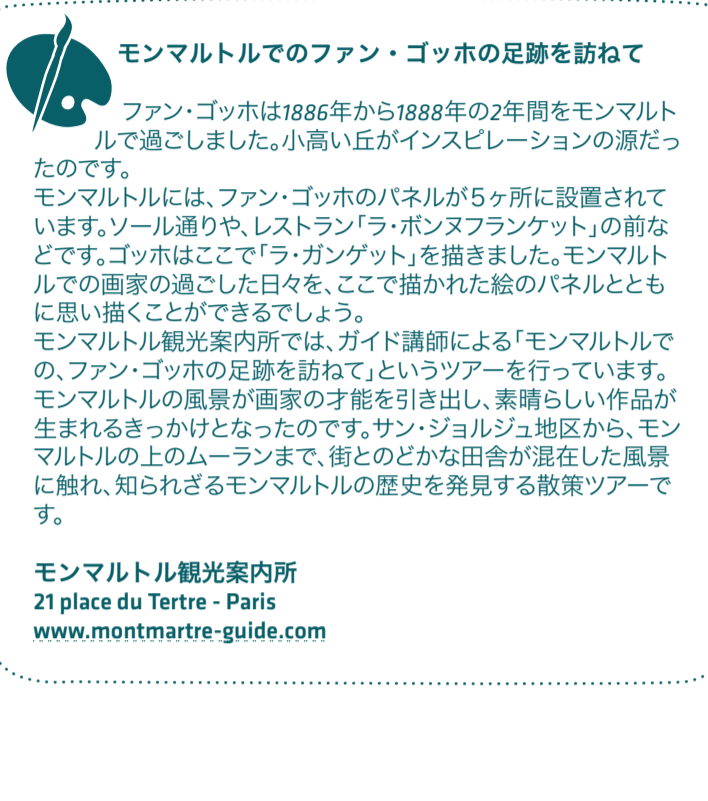
喧騒たる街、パリ

1859年、クロード・モネはル・アーブルからパリに引越します。モネは、パリを「喧騒たる街」と呼びました。ナポレオン三世が第二帝政を宣言した直後で、パリ市はオスマン侯爵による大改造が行われていました。パリ市民の生活様式も大きく変わりました。カフェ、カフェ・コンサート、ブザンヌ、ダンスホール、サーカス、公園などが次々と作られました。印象派の画家たちもこのように場所に集まり、近代化された町に興味を抱き表現するようになります。

エドゥアール・マネ、クロード・モネ、エドガール・ドガ、ビエール＝オーギュスト・ルノワール、カミーユ・ピサロ、ギュスターヴ・カイユポットは、町の中心、日常生活の中に、新しいモチーフを発見します。

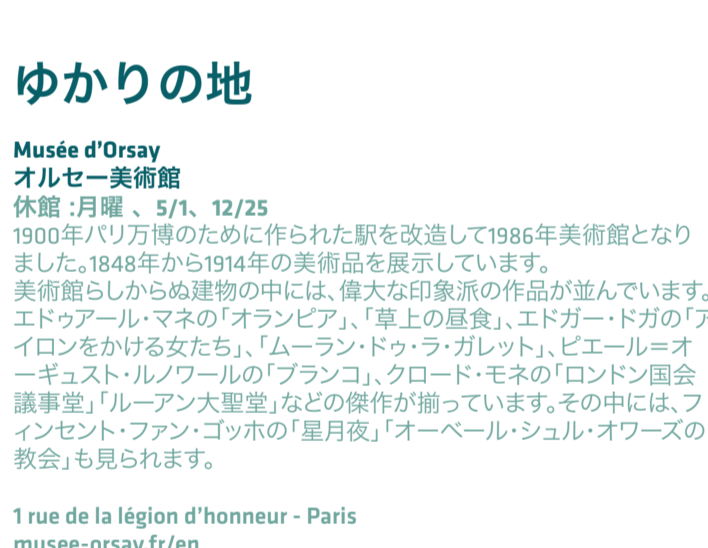
モンマルトルには、多くの印象派絵画コレクションが展示されています。特にクロード・モネの作品、また印象派にまつわる貴重な遺産も見ることができます。

エドゥアール・マネ、クロード・モネ、エドガール・ドガ、ビエール＝オーギュスト・ルノワール、カミーユ・ピサロ、ギュスターヴ・カイユポットは、町の中心、日常生活の中に、新しいモチーフを発見します。



Opéra - Galeries II
自由見学：毎日10時〜17時　午後公演がある場合
休館：1/1、5/1
世界的に有名なオペラ座ガルニエは、1875年、オスマン男爵の大改造で作られたパリで最も華やかな通りの奥に建てられました。音楽とダンスを愛したエドガール・ドガも、よくオペラに通い、舞台裏や稽古場や舞台でのハリケールを好んで描きました。オペラ座内の見学で、その場の雰囲気を感じてみてください。

Place de l'Opéra - Paris
www.operaparis.fr



Musée d'Orsay
オルセー美術館
休館：1/月曜、5/1、12/25
1900年パリ万博のために作られた駅を改造して1986年美術館となりました。1848年から1914年の美術品を展示しています。美術館らしからぬ建物の中には、偉大な印象派の作品が並んでいます。エドゥアール・マネの「草上の昼食」、エドガール・ドガの「アイロ」を描ける方たち、「ムーランド・パレット」、ビエール＝オーギュスト・ルノワールの「ブランチ」、クロード・モネの「ジャン・バティスト・ミレー」の「3人の絵画パレル」を設置しています。画家の足跡や、その周辺の見どころを詳しくご紹介しています。

Musée de l'Orangerie
メゾン・フルネーズ
オランジュリー美術館
休館：火曜、5/1、12/24、1/1
ファンゼンブローの森の館で、この場所を「印象派にとってのシックスティーンランド」と呼びました。フランス国旗に奪われたクロード・モネの傑作「朝」の連作が一面一面を展示されています。22枚のパネルで3つに構成された作品が、2の構内両面に並べられ、天窓から入る自然光に包まれています。

美術館では、その他の傑作もご覧いただけます。20世紀初期10年間の貴重なウォルター・ギヨームコレクションです。画廊ポール・ギヨームは若いアーティストの才能を見出し、友として支え、少しづつコレクションを増やしてきました。このコレクションには彼の愛も含まれました。セザンヌ55点、ルノワール24点、ドラウラ23点、スーティン22点(ヨーロッパ最大のコレクション)、ピカソ12点、マチス10点、トリリウ19点という類まれなコレクションを誇ります。

Place de la concorde - Paris
musée-orangerie.fr

Musée Marmottan Monet
モネ・マルモタン美術館
休館：1/月曜
モネの象徴的作品「印象・日の出」はこの美術館でご覧いただけます。トワリア広広場からほど近い場所に残る元貴族館に、クロード・モネの次男によって寄贈された作品が展示されています。200mの部屋で、巨匠モネがノルマンディーの海岸、自宅サン・ピエルの窟、ロンドンで滞在を描きあげた作品に囲まれる夢のような空間です。エドゥアール・マネ、ビエール＝オーギュスト・ルノワール、アルフレッド・シスレー、カミーユ・ピサロなど多くの画家が共同で絵画を描きました。パレル、デッサン、スケッチ、印刷の11バリエーションがある大きな画。壁と壁が接する大きな敷地で、ギュスターヴ・カイユポットが暮ら

